



たばこ事業
2022年実績及び2023年ガイダンス

Eddy Pirard
JTI Chief Executive Officer

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

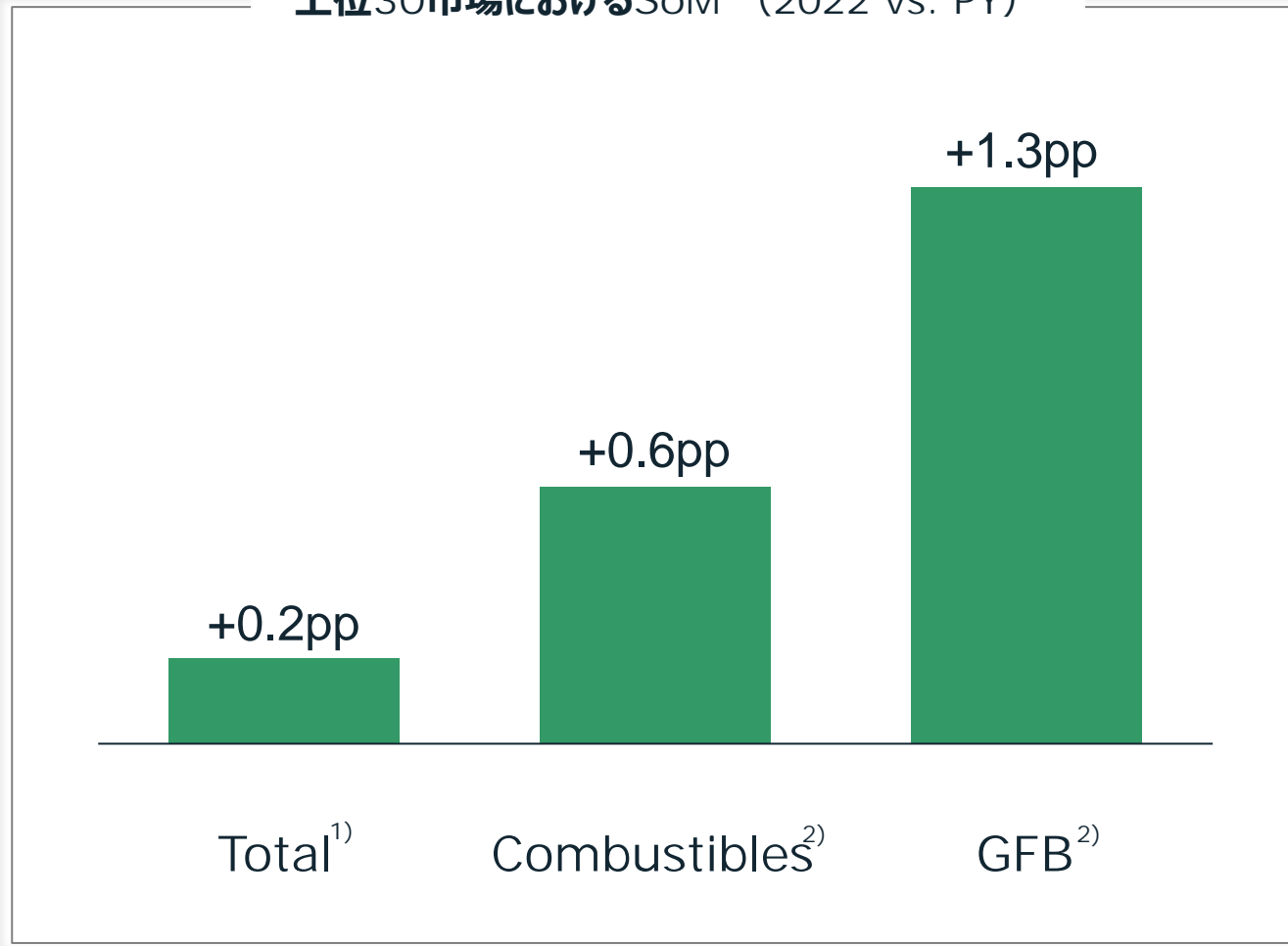
- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

2022 | あらゆる指標にわたって目覚ましい実績

- JTグループの利益成長の原動力としてのたばこ事業の役割がより強固に
 - 市場シェアの継続的な伸長とRRP販売数量の2桁%成長を主因として、総販売数量は総じて安定的に推移
 - 厳しいマクロ経済環境にもかかわらずプライシングは堅調
 - 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益の着実な成長により調整後営業利益率が向上。これを為替が後押し
- 主な成功要因
 - たばこ事業運営体制の一本化が事業モメンタムをさらに強化
 - Combustiblesにおける強力なブランド、卓越した実行力及びアジリティ
 - 大幅に向上したコンシューマー・エクスペリエンス、継続的な投資及びケイパビリティの向上を通じた日本におけるPloom Xの成長
 - リソース及びリターンの最適化にフォーカスした投資戦略

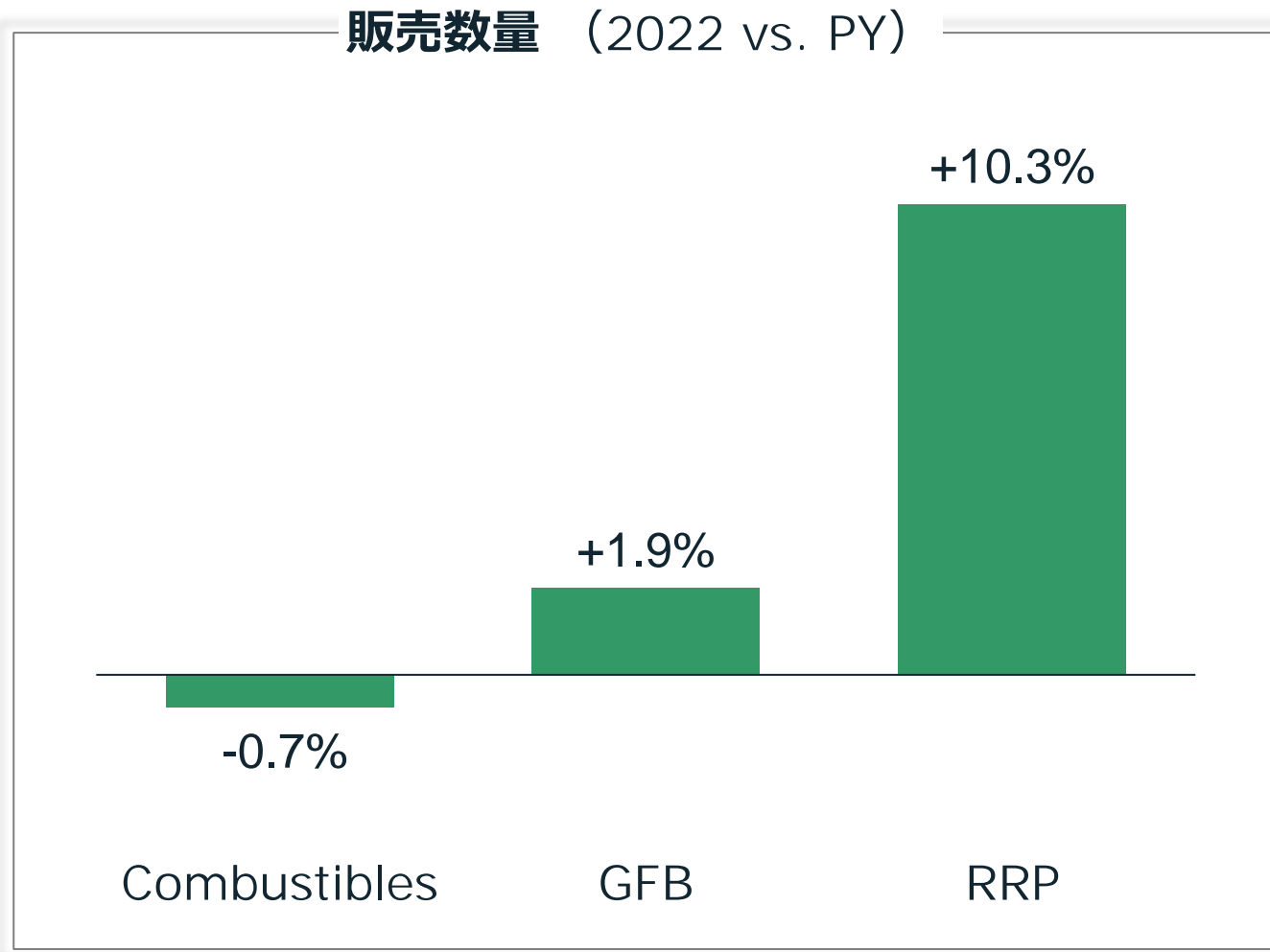
卓越した事業運営とブランド構築によりシェア成長が加速

上位30市場におけるSoM (2022 vs. PY)



- グローバルではCombustibles、日本ではHTSが牽引し、Total市場シェアが伸長
- Combustibles
 - 上位30市場のうち2/3で市場シェアが伸長
 - RMC及びFCT双方において市場シェアが伸長
- GFBは過去最高の市場シェアを記録
 - Winston及びCamelが大きく伸長
 - 新製品のローンチが Momentum を支える

CombustiblesにおいてGFBが底堅い数量パフォーマンスに寄与



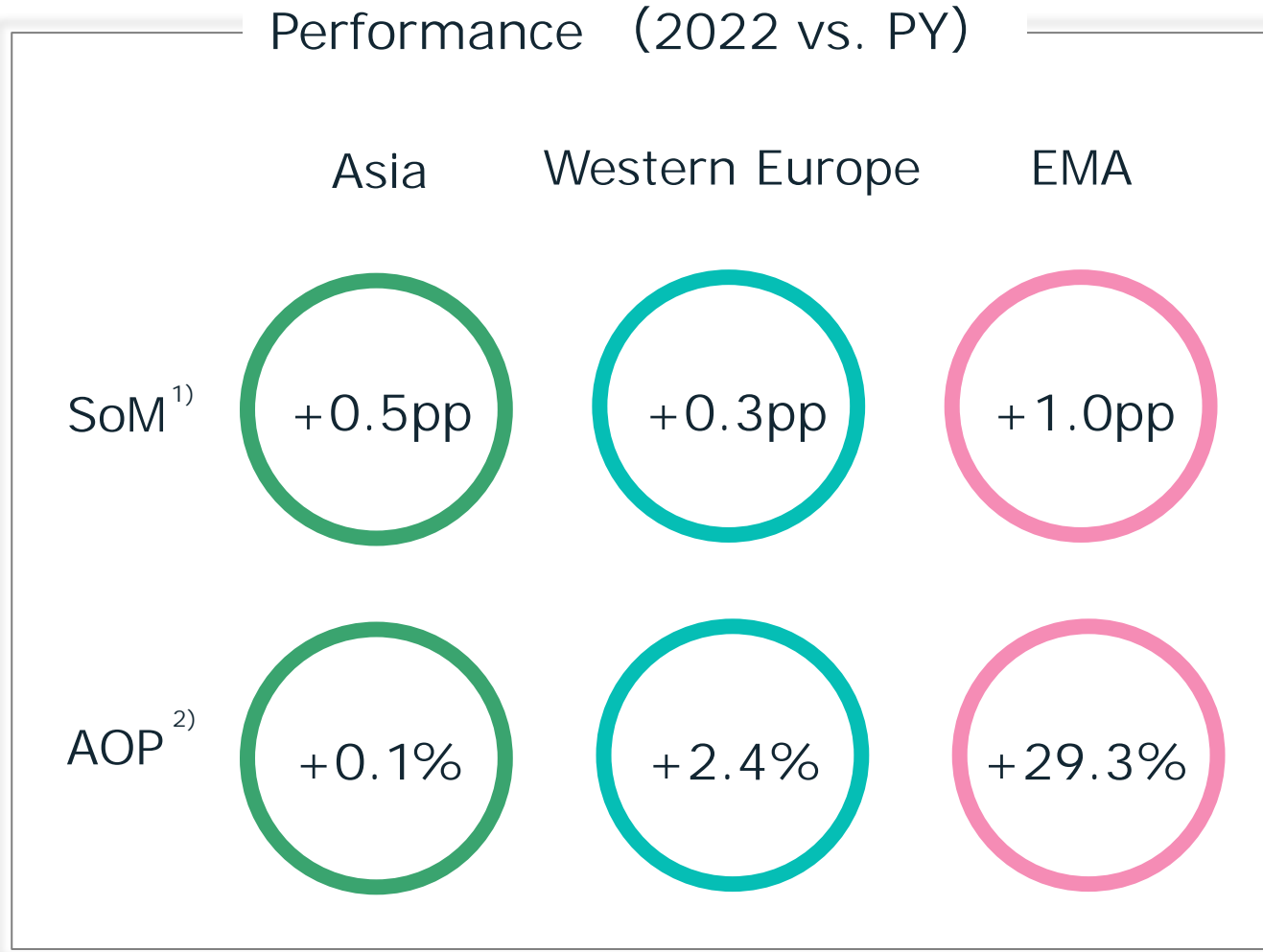
- 市場シェアの伸長がCombustibles総需要の減少（推定減少率1.5%¹⁾）を一部相殺し、Combustibles販売数量は安定的に推移
- GFB販売数量が再び増加、総販売数量の69%を占める
 - Winston及びCamelの販売数量が30超の市場において2桁%の増加
 - LD及びMEVIUSは10超の市場で伸長
- RRP販売数量は日本でのPloom Xが牽引し2桁%増
 - 成長しているRRPセグメントにおいてカテゴリシェアが伸長
 - リテンションが向上

厳しい事業環境においても力強いprice/mix



- Combustiblesのプライシングモデルは持続的であり、これにより過去最高を記録、想定外のコスト増を相殺
- 以下の市場が牽引し、全てのクラスターにおいてprice/mixがポジティブに寄与
 - EMA：ロシア、トルコ、ルーマニア、ポーランド
 - Western Europe：英国、ドイツ
 - Asia：日本、フィリピン
- 自社たばこ製品売上収益におけるミックスの影響は、コロナ禍影響の収束と継続するダウントレーディングを反映

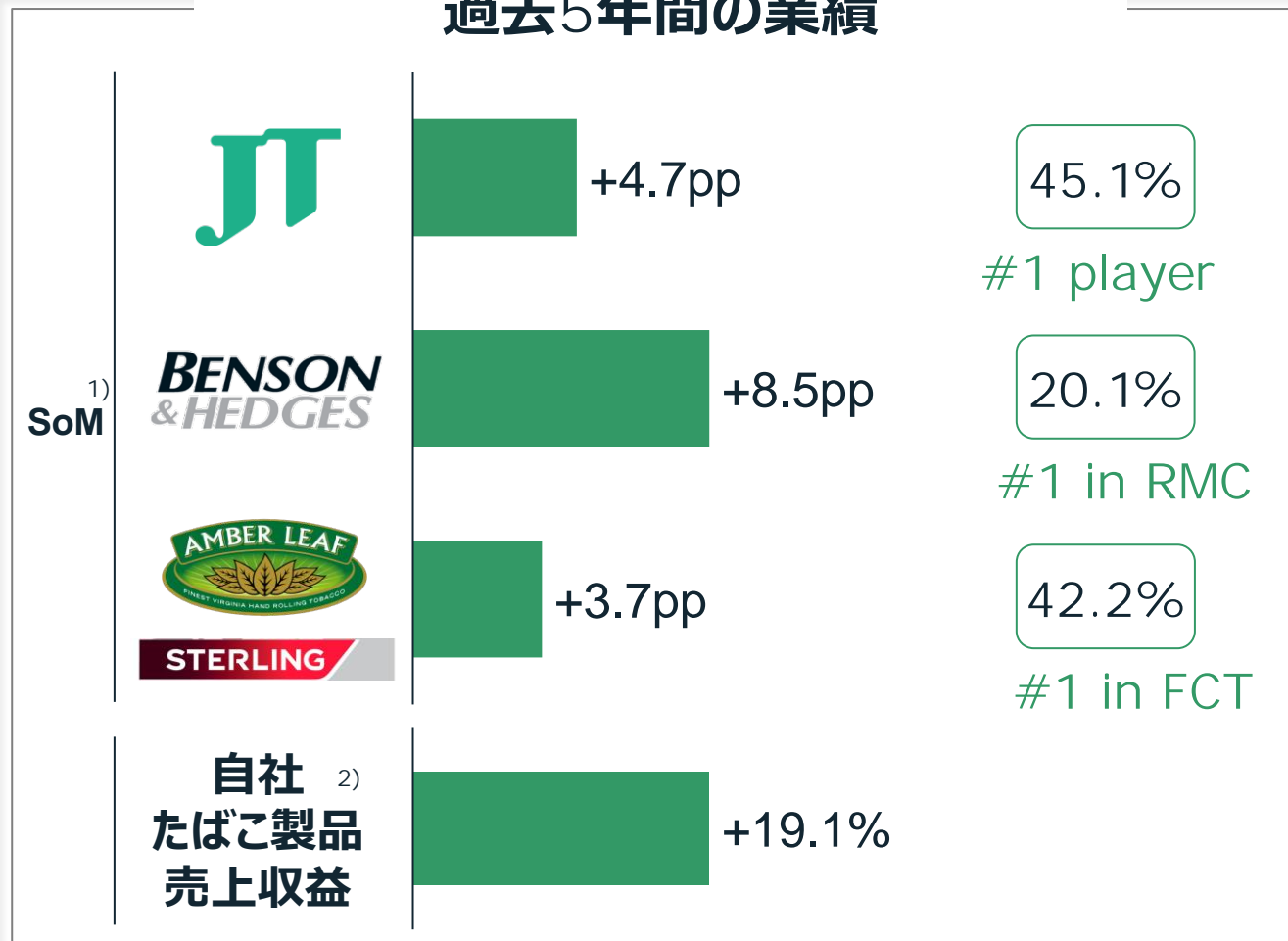
全てのクラスターが成長に貢献



- Asiaにおける成長は市場基盤の強化と拡大が寄与
 - GFBが市場シェアのモメンタムを牽引
- Western Europeはコロナ禍のトレンドの収束にも関わらず成長
 - 市場シェアの成長と力強いprice/mix
 - トップライン及びボトムラインの成長に寄与
- EMAは自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益の成長に大きく貢献

英国 | マーケットリーダーとしての揺るぎない地位をより強固に

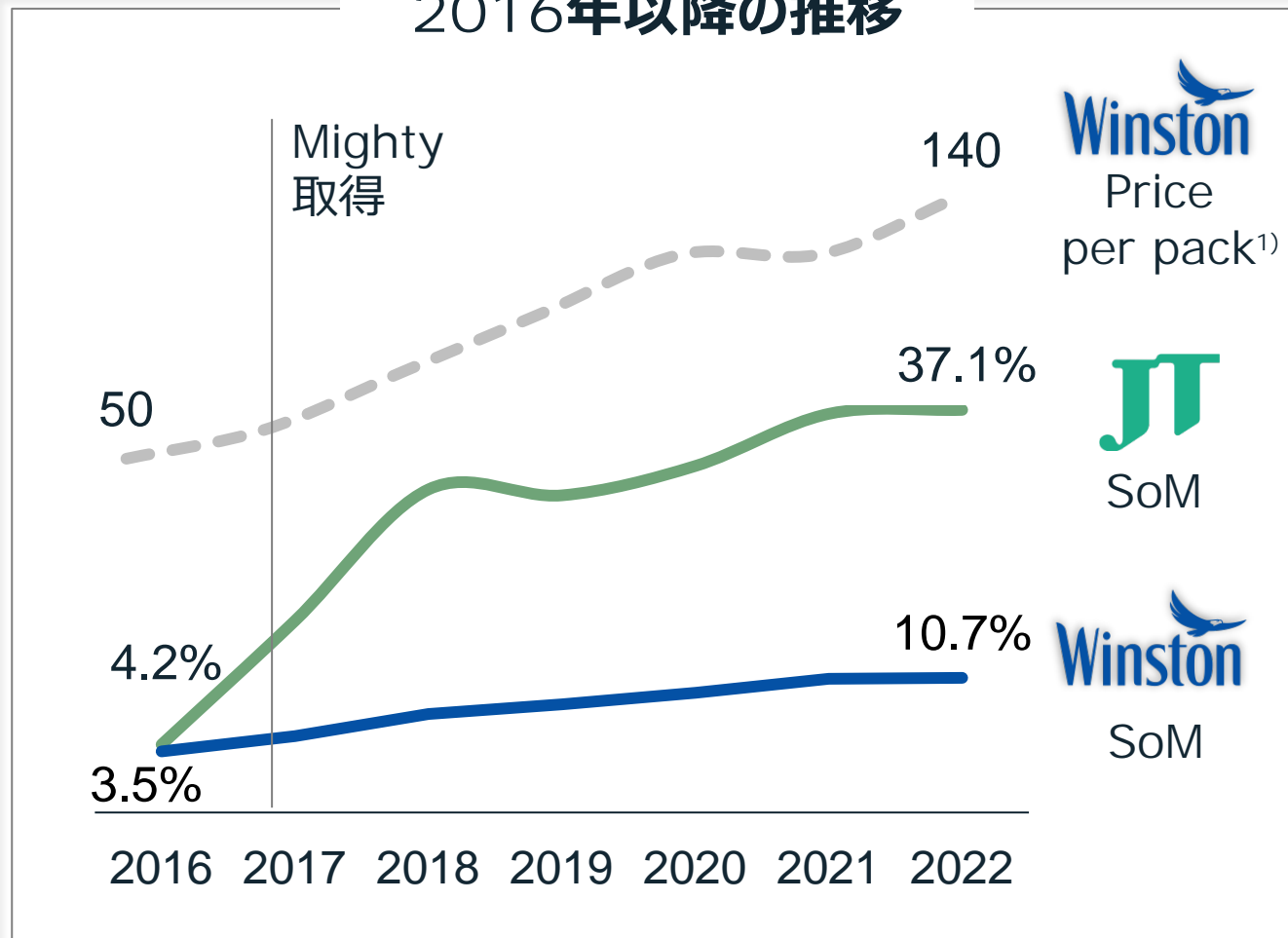
過去5年間の業績



- 過去5年間で大幅に成長
- RMC及びFCTカテゴリにおけるNo.1の地位を強化
- 堅調なプライシングにより自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益が増加
- コロナ禍のunwindが2022年に発現したことにより、総需要のトレンドは過去の水準に回帰
- 強力なポートフォリオと取引先へのエンゲージメントが、堅調な市場シェアのトレンドを後押し

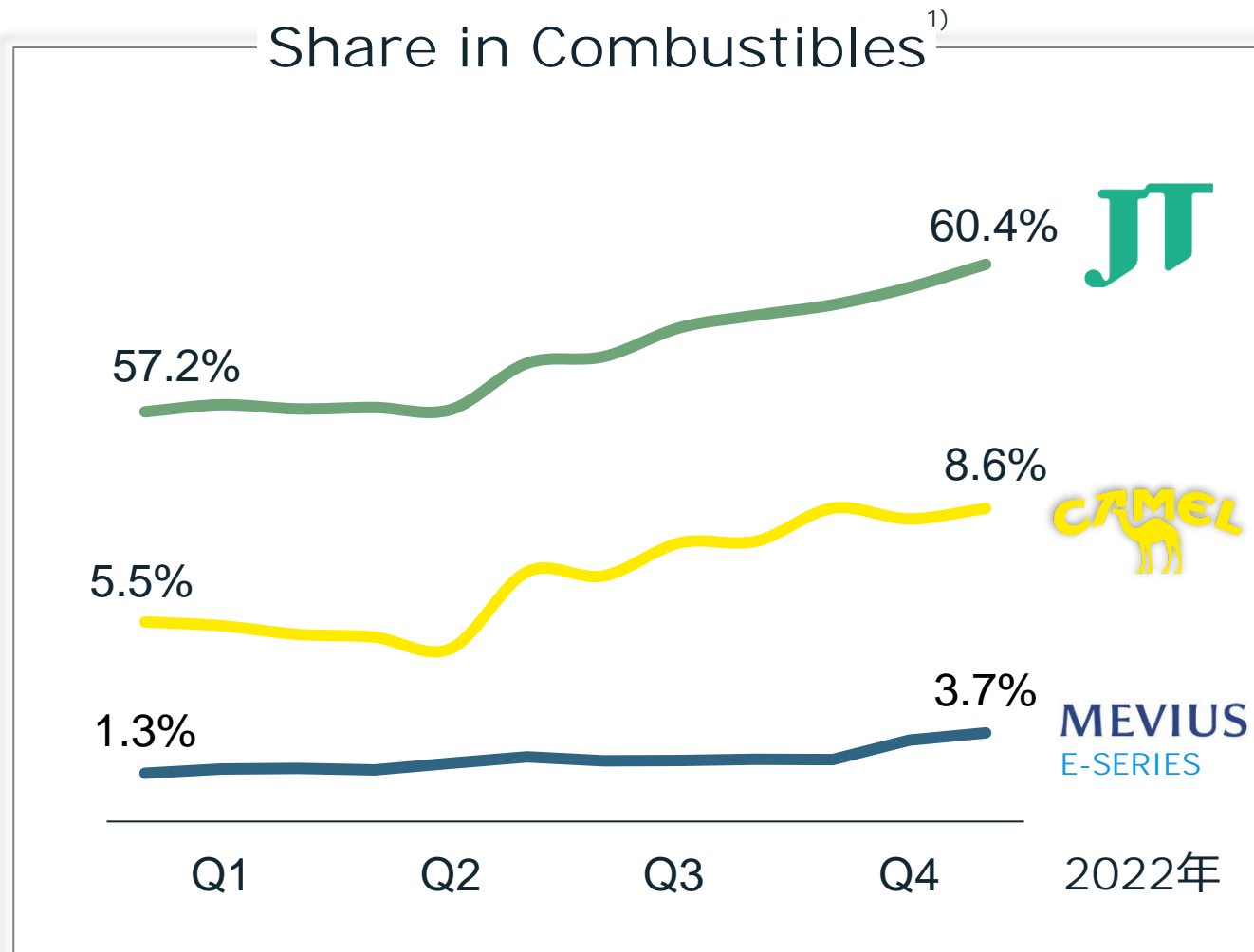
フィリピン | 目覚ましい成長の軌跡

2016年以降の推移



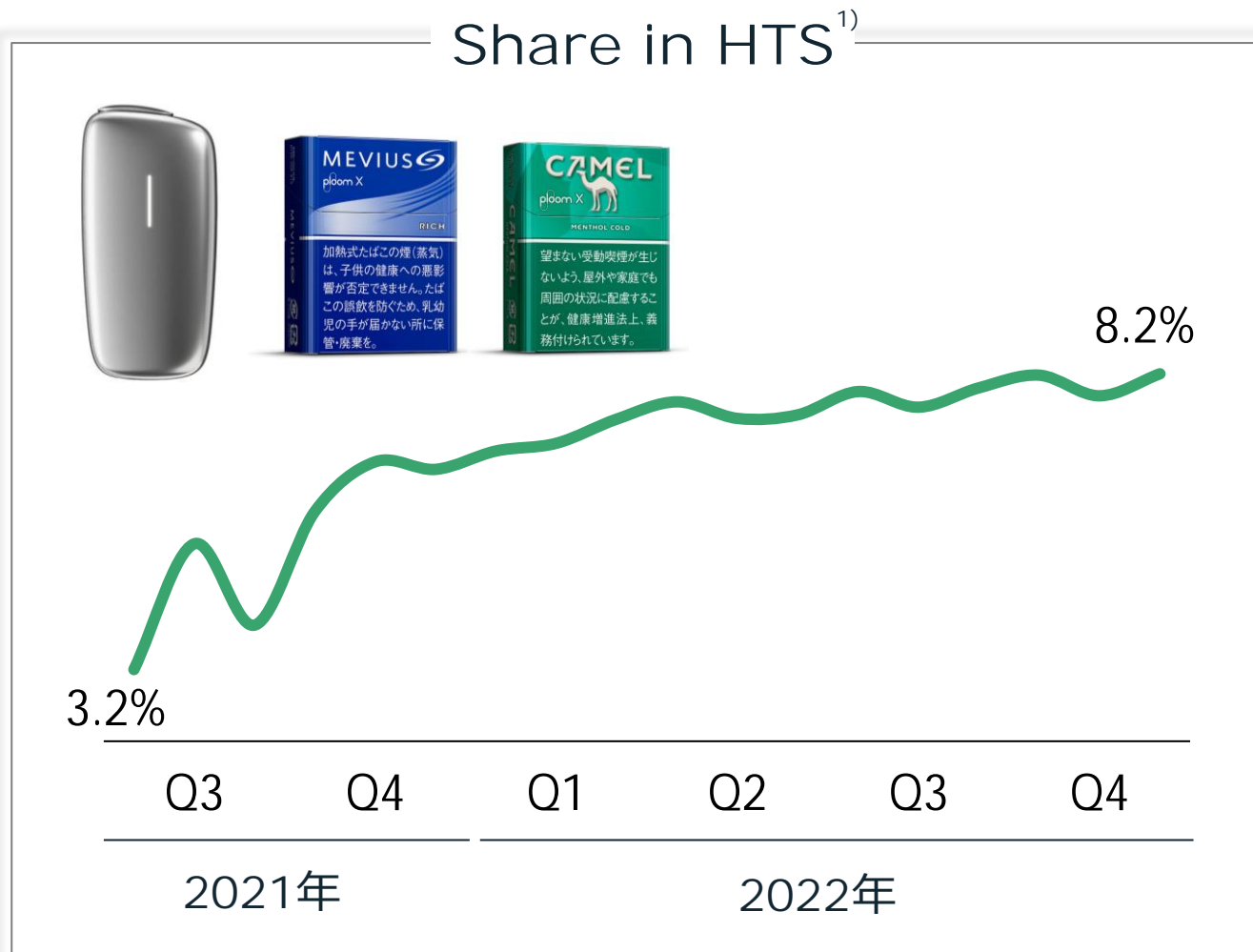
- Mighty取得以降、オーガニックでの市場シェア成長を着実に達成
 - Totalシェアは7%から37%に伸長
 - No.3ブランドであるWinstonのシェアは2倍以上に
- 複雑な市場での卓越した事業運営
 - 販売店数を3倍に拡大
 - 全価格セグメントに対応したバランスのとれた製品ポートフォリオ
- 自社たばこ製品売上収益及び調整後営業利益双方における成長
 - 複数年にわたるプログラム増税

日本 | Combustiblesにおけるリーダーとしての地位を強化し、



- 度重なる製品価格の上昇が、Combustibles総需要に影響
- バランスのとれた製品ポートフォリオがCombustiblesカテゴリにおけるシェア回復に寄与し、プロフィットプールを確保
- Camelは今やvalueセグメントでNo.1のブランドに
 - 6月のキャメル・クラフト投入の成功
 - 2022年末にはCombustiblesカテゴリにおけるNo.2ブランドに
- MEVIUSがNo.1の地位を強化
 - Eシリーズがmid-priceセグメントで伸長
 - 更なるSKUをローンチ予定

日本 | 同時に、HTSでの成長を加速



- 2021年のローンチ以降、Ploom Xは好調なパフォーマンス
- 新たなデバイスとスティックによりPloomの体験を強化
- 日本におけるHTSカテゴリでのシェアは8.2%に
 - 新たなフレーバー付きSKUの投入
 - 競争力のあるデバイス
- より強力なケイパビリティが引き続きユーザーの獲得とリテンションのドライバーに

2023年はPloom Xの地理的拡大を加速

Ploom Xのローンチ

英国
in 2022

10+
in 2023

10+
in 2024

- Ploom Xのこれまでの投入市場は日本全国及びロンドン
 - 120万人を超えるユーザーを獲得
- Ploom Xの地理的拡大を加速
 - 既にHTS市場が確立されている市場を重視
 - 2023年は下半期にローンチが集中する予定
- HTSに大幅な投資を実施
 - ケイパビリティの強化に注力

たばこ事業 経営計画2023

2023年のフォーカスエリア

HTSへの投資を加速

- 日本でのさらなるシェア伸長
- Ploom Xを10超の市場に投入

Combustiblesのトップライン成長と収益性向上に引き続き注力

- シェアモメンタム及びGFBのエクイティを強化
- 自社たばこ製品売上収益の成長を促進

経営計画2023（3カ年）

販売数量は安定的に推移する見込み

- 継続的な市場シェアの伸長がCombustibles総需要の減少を一部相殺
- HTSが牽引しRRP販売数量は2桁%の成長

売上収益は1桁%台半ばの伸長を見込む

- 引き続きCombustiblesのプライシングが成長ドライバー
- RRP売上収益の増加がトップラインに貢献

調整後営業利益は1桁%台前半の成長を見込む

- 将来の利益成長に向けた基盤強化に向け、RRPへの投資を加速